

## 誓いの言葉（要約）

ここまで成長することができたのは、仲間や恩師、地域の皆様、そして何よりいつもそばにいてくれた家族の存在があったおかげだと感じています。

今日を迎えることができなかった友もいます。決して当たり前ではないこの日を迎えられる幸せに、深く感謝します。

震災から、もうすぐ3年が経とうとしています。変わってしまったまちの姿に胸が痛みますが、それでも新しい益城町に向けて、少しずつ着実に復興への歩を進めており、若い世代である私たちも全力で力を添えていきたいと思っています。

平成という時代も終わりを迎え、新しい時代への幕開けが、すぐそこまで迫っています。

胸に抱える想いや夢は違いますが、それぞれの道・場所で、社会に、そして益城町に光を与えられるよう、努力していくことをここに誓います。



上段 有隅さん(右)、  
近藤さん(左)

中段 大川さん(右)、  
山下さん(左)

下段 代表して西村町長  
から記念品を受け取る石  
坂さん



復興を担う町民の一人として、ぜひともお力を貸していただければと思います。新成人の皆さんの未来が幸多からんことをお祈りします」と新成人を激励すると、代表で石坂葉大さん（広崎1町内）が町長から記念品を受け取り、近藤瑠華さん（安永1町内）が交通安全宣言を、有隅遼太郎さん（辻の城団地）が誓いの言葉を述べ、今までの感謝と新成人としての決意を表しました。

小雨のなか始まった式ですが、終了後には薄日が差し始め、会場の外では写真撮影や連絡先を交換し合ったりする光景があらこちらで見られました。

